

2021年2月26日

各 位

会 社 名 株式会社アマナ
代 表 者 代表取締役社長 進藤 博信
(コード番号 2402 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役 Platform Design 部門担当
石 亀 幸 大
(TEL. 03-3740-4011)

営業外費用及び特別損失の計上、通期個別業績と前年実績値との差異、 並びに剰余金の配当（無配）に関するお知らせ

当社の2020年12月期における営業外費用及び特別損失の計上、及び2020年12月期個別業績と前年実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において、2020年12月31日を基準日とする剰余金の配当（無配）につき決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外費用の計上

当社の連結子会社のうち、財政状態が悪化している子会社に対する貸付金について、個別決算において貸倒引当金繰入額641百万円を計上いたしました。

なお、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

2. 特別損失の計上

(1) 関係会社株式評価損

当社が保有する連結子会社及び持分法適用関連会社の株式のうち、実質価値が著しく低下したものについて減損処理を行い、個別決算において関係会社株式評価損111百万円を計上いたしました。

なお、連結財務諸表上では一部を除き消去されるため、連結業績への影響は軽微であります。

(2) 抱合せ株式消滅差損

当社は、当連結会計年度において連結子会社5社を吸収合併いたしました。この合併に伴い、個別決算において抱合せ株式消滅差損96百万円を計上いたしました。

なお、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

(3) 特別調査費用等

当社及び当社連結子会社であった会社において不適切な会計処理が行われた事実が判明したため、外部の専門家から構成される特別調査委員会を設置し、事実関係等及び原因についての調査を実施しました。当該特別調査委員会の調査及び関連する費用等を、連結・個別決算において特別調査費用等201百万円として計上いたしました。

3. 2020年12月期通期個別業績と前年実績値との差異（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回実績（A）	17,396	△248	△260	△384	△77.41
今回実績（B）	15,040	△545	△1,203	△2,548	△512.49
増減額（B－A）	△2,356	△296	△943	△2,163	
増減率（％）	△13.5	－	－	－	

差異の理由

売上高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、前期比で2,356百万円減少（前期比13.5%減）となりました。一方、外注費コントロール施策が一部顕在化したこと及び、業績進捗を勘案した賞与の抑制やロケーション・ファシリティの最適化に伴う設備費の抑制などの経費削減を推進しましたが、営業損失は296百万円増加となりました。当社の連結子会社のうち、財政状態が悪化している子会社に対する貸付金についての貸倒引当金繰入額などを営業外費用に計上した結果、経常損失は943百万円増加となりました。当社及び当社連結子会社であった会社において判明した不適切な会計処理に関する調査に係る特別調査費用等及び連結子会社の吸収合併に伴う関係会社債権放棄損などを特別損失に計上した結果、当期純損失は前期より大きく増加しました。

4. 剰余金の配当（無配）について

配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年3月4日公表)	前期実績 (2019年12月期)
基準日	2020年12月31日	2020年12月31日	2019年12月31日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	0円00銭
配当金総額	－	－	－
効力発生日	－	－	－
配当原資	－	－	－

修正の理由

当事業年度において、当期純損失を計上する見込みとなったため、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

以上